

ニイザ

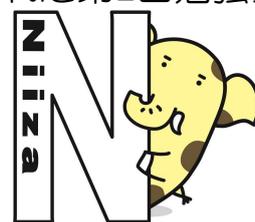
213ささえあい隊NEWS

第3号発行：平成30年7月31日

★第2回生活支援体制整備事業勉強会の報告★

第1回生活支援体制整備事業勉強会(以下、勉強会)では、市内6圏域共通した内容で実施しましたが、第2回勉強会は各圏域それぞれ異なった内容で実施しています。

まずは7月3日(火)北部第一圏域、7月11日(水)南部圏域で行われた第2回勉強会について、各担当からご報告いたします。



北部第一圏域 第2回勉強会

7月3日(火) 10:00～ 東ふれあいの家



新座市6圏域のスタートを切り、北部第一地区の第2回勉強会を開催いたしました。当日は10名の方に参加いただきました。

冒頭では前回第1回勉強会の振り返りとして、北部第一圏域担当コーディネーターより説明を行いました。振り返りを行った後は、第1回勉強会で実施したグループワークで多く出された2つのテーマについて、模擬協議体として協議を予定しておりました。

しかし、参加者の方々から、模擬協議体を行う前に、昨年行った生活支援体制整備事業研究会で出された意見や課題等を取りまとめた結果について、参加者みんなに共有して欲しいというご意見を頂きました。

そこで、模擬協議体でのグループワークではなく、みなさまのご不明点をお伺いし、質疑応答の時間といたしました。また、ご参加いただいたみなさま全員に、ご自身のお考えを述べていただきました。

参加されたみなさまから下記のようなご要望をいただきました。

- ①研究会資料とりまとめ結果について周知すること
- ②活動が進んでいる他市での事例紹介

この2点について、第3回勉強会にてお伝えさせていただくこととなりました。

★次回勉強会:8月3日(金)10:00～ 東ふれあいの家

南部圏域 第2回勉強会

7月11日(水) 14:00～ 堀ノ内集会所

初参加の方を含めて9名の方にご参加いただきました。

まず、南部地区担当生活支援コーディネーターの自己紹介と、第1回目勉強会の振り返りをお伝えさせていただきました。

振り返り後に出席者全員で「ささえあい体験カードゲーム」を行いました。自分がやってもらいたい内容が書かれたカードを選び、その内容についてやってもらいたいよと言ってくれる人を探します。最初は戸惑いながらも、慣れてくると「〇〇はできるけど△△はできないので、それでもよければやりますよ」「私が教えるから、指示通りあなたがやってみて」など交渉がはじまり、わいわいにぎやかなワークになりました。

ゲーム終了後には参加者全員で「協議体が必要だと思うか」について話し合いを行いました。以下は話し合いでの内容(一部)です。

- ・「協議体」いいなと思っている。ただし、続けていくには居場所・やる場所が必要。
- ・協議体があった方が良いかについては現状わからない。既存の組織や資源は活用していくべきと思う。
- ・協議体を進めていくのであれば、目標などはある程度行政側が決めて提示すべきではないか。それも協議体でと言われてしまうと本当にやっていけるのか不安。
- ・世間的にも周知がしっかりなされていることが前提だが、協議体は必要と考える。
- ・協議体＝顔の見える関係であり、人には「そっと支えあえる関係」が必要。
- ・指示を待つのではなく、自ら幸せになるために何をするのかを考えていくべき。

第3回勉強会では、以上の点もふまえて、名称を決めることとなりました。どんな名称になるのかについてはまたお知らせさせていただきます！

★第3回勉強会:8月22日(水)14:00～ 堀ノ内集会所



ニイザ 213ささえあい隊NEWS掲示板

生活支援体制整備事業に関する用語集を作成しました！！
「生活支援体制整備事業」って？「協議体」って？
そもそも「専門職」ってどんな仕事なの？
みなさんの疑問にお答えできるよう解説したものです。
随時、みなさまからの声を取り入れて更新していきます！
詳しくは生活支援コーディネーターまたは福祉政策課まで
お問い合わせください！

その他圏域 第3回勉強会日程
東部第二 8月23日(木)10:00～
西部 8月27日(月) 9:30～
東部第一 8月28日(火)10:00～
北部第二 8月30日(木)14:00～

